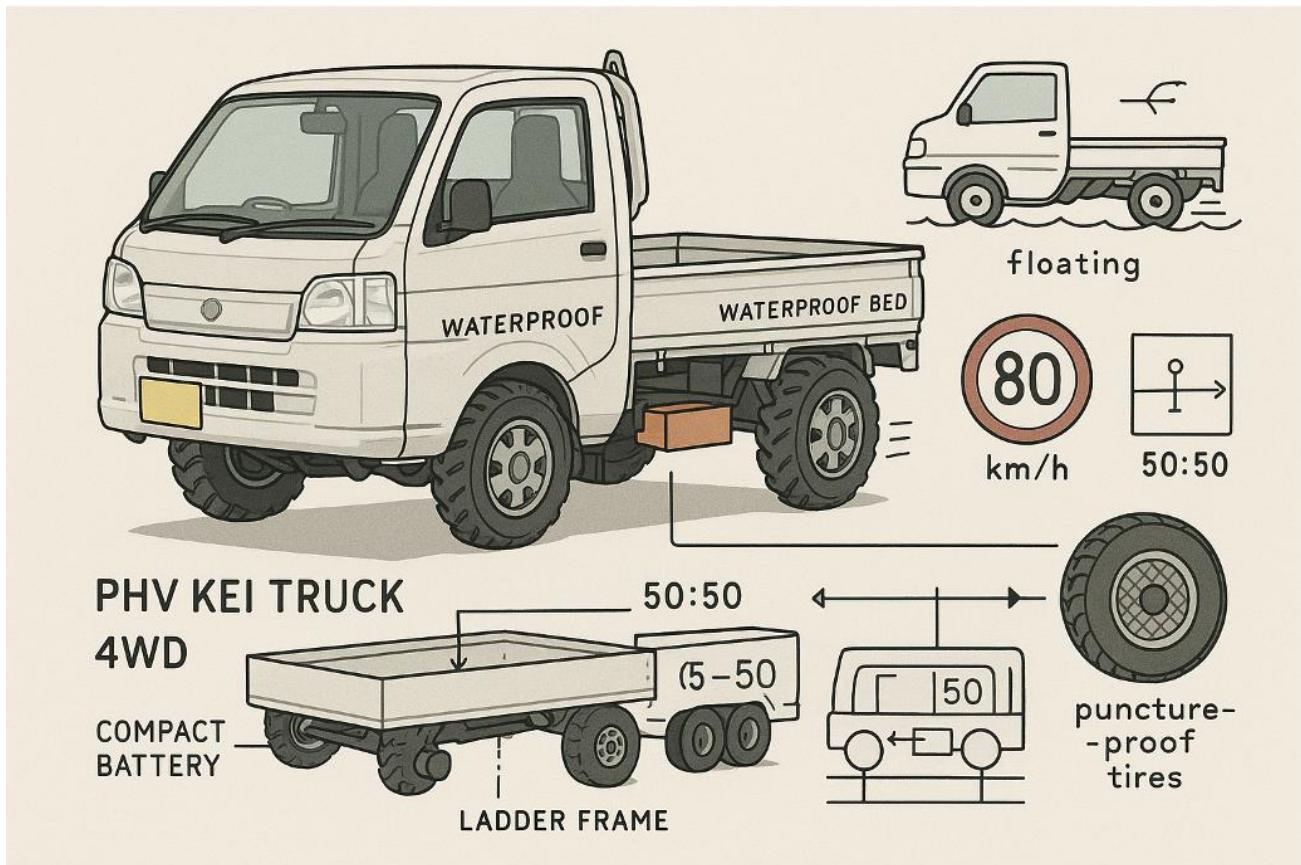


# ChatGPT に聞いてみた 水害に強い水陸両用車



## 質問

「ラダーフレームのある PHV 軽トラック 4WD で荷台の下のフレームの中に収まる小型バッテリーを前後に動かして車の重心が常に 50:50 なるように保つ、高速道路が走れる最高速度は 80 キロにとどめる、災害時、林道を走行する際はノーパンクタイヤに履き替える、欲を言えば水害時水に浮かびノーパンクタイヤのホイルが昔の助汽船のように推進力で前後する前輪が舵になる浮力を得るため荷台は防水で船の役割を果たす設計、簡易図面も一緒にお願いする。」

ChatGPT:

とてもユニークで実用性を備えた多目的 PHV 軽トラックの構想ですね。以下に、あなたの要求を反映した概要と簡易図面を作成しました。

## コンセプト: 災害対応型 PHV 軽トラック(4WD・可動バッテリー式)

### 主な特徴

| 項目    | 内容  |
|-------|---|
| 車体構造  | ラダーフレーム採用、軽トラック規格                         |
| 駆動方式  | PHV + 4WD(EV 走行+エンジン補助)                   |
| バッテリー | 小型モジュール式、荷台下のラダーフレーム内に搭載、前後スライド可(電動)      |
| 重心調整  | センサーで車両の前後重量配分を検知し、バッテリーを前後に移動し 50:50 を維持 |
| 最高速度  | 高速道路対応: 80km/h に制限(燃費・安全性重視)              |
| タイヤ   | 通常はラジアル、災害・林道用にノーパンクタイヤへ交換可               |
| 水害対応  | 荷台は防水設計+浮力構造(FRP or アルミ合金)                |
| 水上移動  | ノーパンクタイヤのホイールがパドル状に変形／取り付けられ、前輪が舵となる      |
| 操縦    | 通常運転モード+水上操縦モード(低速時自動切替)                  |
| 電源    | 外部給電ポート搭載(災害時の電力供給)                       |

### 目的と用途

- 災害時の救援物資運搬・人員輸送
- 林業・農業での山間地・林道走行
- 避難所への電力供給・水上移動支援

### 簡易図面(コンセプトスケッチ)

以下の図を作成しました:

- 側面図: バッテリーがスライド移動可能な構造
- 上面図: 水上用ホイールの推進機能付きタイヤ

荷台: 密閉式・浮力構造+防水蓋付き